

町の報

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135

編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875)2038

(1)

町のうごき

本籍数	4,667
本籍人口	14,968
世帯数	3,647 (3,608)
住民登録人口	13,857 (13,786)
内 男女	6,705 7,152

12月1日現在
()内は11月1日現在

新春を迎えて

天王町長 藤原慶三郎

町民の皆さん、明けましておめでとうございます。輝かしい昭和四十八年の新春を迎え、皆さんとともに心からお喜び申し上げます。



先取りの行政で 期待にこたえる

昨年末に行なわれまして衆議院議員選挙は、大勢には大きな変化はなかったにしても、時代の流れの一端をあらわす様相を示すとともに、都市近郊に位置する本町にとっても、町民意識の上にも多くの考えさせられるべきものがあつたと思えます。昭和四十七年を振り返ってみますと、社会経済情勢の変化、特に米国のドル不安により、試験の場に立たされ、地方税、特に地方交付税が前年度より約十%減少となり、加えるに土地開発基金制度の廃止(約一千三百万円)、新産都市関連事業の補助金(約七百万円)の減少等、予期しなかった歳入減により、過去八年間に経験しなかった財政難に落ちこみました。

私は、躍進途上にある本町にとって、今こそ飛躍的な新生面を開くべきであるとの考えから勇気をもつて、打開に当る決意をいたしました。
①天王小、追分小の両校体育館(暖房付、県内三校のうち本町が二校)の建設。②町職員会

館。③追分乳児保育所。④戸小プールの建設。⑤各地区の道路整備、舗装等、議会のご協力ご理解を賜わり、意欲的に取り組んできたつもりです。
特に、〇〇三歳児の乳児保育所、町職員会館の建設は、県内町村で本町が最初であり、共働き夫婦対策および職員の志気高揚の上に、大きな意義を有するものと感じています。また、一年間に天災等、特別な事情のない限り、一町村で同時に二校の体育館(暖房付)を建てることも前例のないことと存じます。

行政は、あまり新しいことや仕事を多くすることにより、いろいろの批判をうけがちなものであり、自己本位に考えるならば、ほとんどに行なうのが利口なやり方かも知れません。しかし、本町のおかれている現状を考えると、自分の性格としていかなる批判、非難をあびようとも「後追いの行政」はすべからず、今こそ「先取りの行政」により、住民の期待にこたえるべき時であるとの信念から、事業を推進しているつもりです。

大規模工業開発

来年度から五十名

づつ先進地視察を

稲作の件ですが、四十七年度における生産調整は強制せず、全く農家自身の自主性にまか

したが、本町における農業問題は、先途に多くの問題をかかえており、この解決は一朝一夕でできるものではありませんが、目を閉じれば、自分の心に浮かんでくる命題は数限りありませんが、この農業問題と下水道問題には、ほとほと頭を悩ましています。

今後、関係各位とご協議の上真剣に取り組み、なんらかの解決策を見出すよう、努力を払わなければならぬと痛感しております。

今、行政の責任者としての立場に立って考えることは、現実の諸問題の解決はもろろんのことですが、これからの時代がどう変化していくか、また、地方自治体が、どうこれに対処して

新年度

道路整備の他、福祉にも重点

昭和四十八年は、かつてないきびしい財政事情が予想される年でありますが、議会の議決を得られれば、主な事業として
①湖岸地区保育所の統合建設および通園のためのバス購入。
②追分地区老人ホームの建設。
③給食センターの建設(教育委員会からの答申の結果を参考として)。
④公営住宅の建設(約四十八戸)。

⑤町単独道路舗装事業。
⑥塩口部落内道路(中羽立部落内道路)羽立部落内道路。
⑦農免および農道整備補助事業。

- ▲天王地区▼蒲沼地区▼鶴沼台地区▼北野地区▼上戸地区▼北野第二地区▼野沢地区▼出戸地区▼下分水地区▼農免道路(白洲野一丁目)
- ⑦畑地総合整備補助事業。

いかなければならないかということ、真剣に考えなければならぬこと、と私は思います。一例をとれば、経済発展、生産性の向上等の成果として、週二日制の普及、労働時間の短縮等により、自由時間の増加等、余暇利用施設の整備、推進等、地方公共団体が余暇活動にかかわる施策をどう展開してゆくか公害問題には、どう対処するかという事です。

昨年十月、男鹿市、若美町、本町の一市二町の大規模工業開発推進協議会が、茨城県の鹿島灘地区の開発状況を視察し、私は大いに得る所があり、これは議員や役場職員だけが見るべきものではなく、本町の将来の町づくりを誤らず、理想的な町づくりに向けて、

に、過去八年間、町民の期待にこたえるべく、第一に自らをきびしくいじめ、常に正しい政治姿勢で、勇気と正義感をもって、誠実な民主的町政を行ない公約の全部を果してきたつもりです。

いろいろ欠点のあるいたらぬ人間ではありませんが、良識ある町民各位の変わらぬご支持、ご支援を心から強くお願いするものであります。また、自分自身に常に強く言い聞かせることは、
●私は、この天王町に生を受けたことを誇りに思っております。

●私は、自分の生命をこの愛する郷土天王町の町づくりに捧げます。
●私は、町民とともに住みよいらつばな町をつくり、後世に残したい、その一念でがんばっております。

年頭にあたり、所信の一端をのべ、町民各位のご健康とご多幸を祈り、支援を心からお願ひ申し上げ、ごあいさつといたします。

計画と自主性で 郷土発展を

町内問題はもちろん、対外的交渉がさらに、さらに多くなり適切な判断を誤り、軟弱交渉等に終わるならば、悔いを千載に残す結果となることは、火を見るより明らかであり、全町民はこのことを心に強く銘記しなければならぬと思います。
私は「町民の声なき声」をとらえ、町民の意志を尊重し、議会と密接な連携をとりつつ、国県に對して、天王町独自の計画と自主性を主張し、郷土の発展を考えなければならぬ大切な時であることを痛感するとともに

年頭所感

天王町議会議長 京谷 仁太郎



天王町議会議長 京谷 仁太郎
の皆さま、新年あけましておめでとうございます。ここに希望にあふれた新春を迎えるにあたり、皆さまがたのご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

私は、一昨年二月、議長の仕事につき、その重責を痛感し、新たな決意をもち、その後微力ながら円滑な議会運営と町政の伸展を期して、誠心誠意懸命の



天王町教育委員会委員長 佐々木 良衛
の皆さま、新年あけましておめでとうございます。ここに希望にあふれた新春を迎えるにあたり、皆さまがたのご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

私は、高度経済成長のもとで豊かな心をもった人間性の回復を中心とした福祉優先、教育重点が強くともめられております。知育偏重ではなく、バランスのとれた「心を育てる」教育が大切であり、その実を二層高めるために、教育環境の整備、充実をはからなければなりません。

私たちが教育に関係する者は、心を新たに、よりよい教育環境づくりと質の充実のために努力を傾注する覚悟であります。本年度は天小の第三期工事、追分小屋内運動場改築工事および天中グラウンド整備工事などを町当局、議会など、関係各位のご協力で施行することができました。来年度は学校給食の改善と中学校給食の実施を中心画でありますので、ご理解をいただきます。みなさんからは学校教育の充

た、秋田湾地区大規模工業開発構想の中心地として、都市計画による街づくり、本町の基幹産業である農業の位置づけ、公害問題ならびに下水道事業、交通安全事業などに重点をおいた施策を講じなければならぬと存じます。これらの解決を図ることが、我々に課せられた責務であり、関係機関と相まって、最大の効果があがるよう努力する覚悟であります。

昭和四十八年こそは、本町のよりいっそう躍進の年として、町政全般にわたり、内容充実な最大の努力を傾注する所存でありますので、なにとぞ倍旧のご指導とごべんたつをお願い申し上げます。

年頭にあたり、いささか所感をのべてごあいさつといたします。

実はいかにいささか、社会教育の進展のために積極的なご協力と貴重な実践をいただき、質量ともに前進をつづけておりますことを心から感謝申し上げます。

はげしく変動する社会環境のなかで、新しい社会連帯感に支

予消防に専念し、未然防止で



農家の皆さま、明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、心からお喜び申し上げます。

減反三年目の昨年の稲作は、一見よさそうに見えて、実際は悪かったという残念な作柄であり、農家の経済にとり、大変な年であったと思っております。

えられた生き生きとした「ふるさと」づくりが住民総参加のもとでおこなわれなければならないときであります。それが花開く年になりますよう祈念して、新年のごあいさつといたします。

火元焼失の自分の損害だけでなく、隣接の他人にも恐怖と避難物の持ち出し物資の破損、亡失水害などによる幾多の迷惑をかけることは必然であります。このような被害のないように、各自が厳重な取り扱いをすれば、火災の未然防止も可能と思えます。近代式の木造建築に油脂原料で製造された建材も多く使用されておき、火災が発生すると燃えやすく、火回りも早く、大火の恐れが多分にあります。なお、公共建物、会社などには、火気取り締まり責任者が定められているようですが、各々責任をもって、じゅうぶんこれに当ることが肝要であります。

お互いの幸福のために、ことごとしこそは火の用心を忘れること

町商工会では、十一月十九日天王中で第三十二回目の全国珠算検定試験を実施、その合格者をこのほど発表しました。

当日の受験者は百一名で、合格者は四十五名となっている。

- 【一級】 菊地真知子(天王小) 畠山浩(同) 菊地文子(出戸小)
- 【二級】 越後千秋(東湖小) 古山一浩(出戸小) 菊地冷子(同) 門間識子(追分小) 高田茂子(同)
- 【三級】 佐々木結香(東湖小) 菊地真弓(出戸小) 菊地真由美(同) 美喜子(同) 佐々木直由美(同) 菊地晴子(同) 大久保喜徳(追分小)
- 【四級】 吉田みどり(大崎) 戸田範夫(東湖小) 菊地美喜子(出戸小) 安田重樹(同) 伊藤剛(同)
- 【五級】 吉田之子(大崎) 三浦豊(同) 西村英典(東湖小) 渡部康子(出戸小) 加賀谷恵子(同) 加賀谷さとみ(同) 大貫智子(同)
- 【八級】 佐々木友樹(東湖小) 三浦美智子(大崎) 三浦直子(同) 三浦義彦(同) 吉田信幸(同) 畠山操(同) 吉田典子(同) 鈴木美奈子(同) 三浦利明(同) 三浦初子(同) 三浦のり子(同) 菊地美保子(出戸小) 進藤美江子(追分小) 武田智恵美(同) 佐々木富貴子(同) 高橋珠実(同) 柏谷京子(同) 船木和法(同)

なく、無火災の住みよい町づくりにご協力を願ひ申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

年頭にあたって

天王町消防団長 藤原 吉治郎



昭和四十八年の新年を迎えて町民各位の福祉と健康を願ってお祈り申し上げます。

私たちは消防団員は、常に地域住民の福祉のために、生命と財産を災害から守る目的をもって予消防に専念し、未然防止で

蒲沼に工場用地を取得

十二月定例会

十二月定例町議会が二十二日に開かれ、会期を二十三日までの二日間と決めたあと、町長報告、総務、文教社会の両委員会報告が行なわれ、続いて四氏が一般質問を行なった。

このあと、議案審議に入り、一般職員の給与改定、一般会計補正予算案など、十二案件を原案どおり可決して二日目の二十三日に閉会した。

可決された主なものは次のとおり。

「一般職の職員の給与改正」これは、人事院勧告による国家公務員の給与改定に準じて行なわれるもので、給与月額、配偶者手当で、通勤手当などが改正された。

また、一般職の給与改定に準じて、単純労働者の給与月額も改正された。

一般会計に工場用地購入費など四千八百万円

今回、追加された額は、四千八百六十九万二千円で、これによって、歳入歳出総額は六億九千二百二十五万三千円となった。

主な内訳は、給与改定によるベースアップ分の約一千九十万円、蒲沼地区工場用地購入費一千八百五十六万三千円、これに伴う造成工事費一千三百二十五万円となっている。

国保と水道にも追加

国民健康保険特別会計と簡易水道特別会計にも追加された。

この追加で、国保は一億四千七百五十一万八千円、水道は五百七十二万一千円となった。

廃棄物関係の条例を制定

これは、環境衛生の向上を図るために制定されたもので、大そうじの実施や方法、廃棄物処理業の許可などが定められている。

これによって、町清掃条例は廃止された。

乳児保育所の条例決まる

四月開設を目前にしている分の乳児保育所の設置条例が決まった。

これによると、乳児定員は六十名で、保母が十二名、その他栄養士、調理士などの職員が配置され、保育時間は午前八時から午後五時までとなっている。

また、いままでの天王保育所が二田保育所に改称された。

選管委員決まる

町選挙管理委員会の委員と補

充員の任期が、四十七年十二月二十四日で満了となり、議会で選挙された結果、委員には菊地栄治郎、戸田堅一、藤原五兵衛、吉田新一の四氏、補充員には小玉好美、門間耕作、桜庭新蔵、伊藤秀雄の四氏が決まった。

十一月二十八日に臨時議会で

公営住宅の用地を購入

十一月二十八日に臨時町議会が開かれ、公営住宅建設用地の土地取得と四十七年度一般会計補正予算案の二案件を原案どおり可決して同日閉会した。

まず、土地取得については、四十八年度から、字塩口北野に建設する計画の公営住宅建設用地の取得であり、面積は四万九千百十・八㎡である。

また、一般会計に追加された額は、三千八百七十八万八千円で四十七年度歳入歳出総額は、六億四千二百五十六万一千円となった。

追加されたものは、十日に執行された衆議院議員選挙、最高裁の国民審査に関するものが百四万三千円、公営住宅用地を先行取得するための購入費三千七百十四万一千円が主なものである。



ゆとう(湯桶)

民具の紹介

あたたかい飲み物を入れるためのもの。木製のウルシヌリ。これはクロスリであるが、アカスリや外クロで内アカなどもある。ユが調でトウが音であるからユトウヨミということは、この民具からきたものといわれている。ジュウバコヨミの反対。

1973 謹賀新年

天王町役場

- 町長 藤原慶三郎
- 助役 児玉孝之助
- 収入役 伊藤清之助
- 総務課長 船木 雷治
- 町民課長 石黒 兼造
- 経済課長 大関 良作
- 税務課長 三浦 牧男

天王町議会

- 議長 京谷仁太郎
- 副議長 渡部 新一
- 議員 渡部 運吉
- 三浦 兼吉 桜庭 周光
- 三浦 重春 菅生 春司
- 大関与五郎 児玉 長栄
- 渡部 政治 佐々木吉男
- 藤原直一郎 渋谷 重助
- 薄田国三郎 菊地徳治郎
- 佐藤 栄蔵 藤原吉治郎
- 桜庭金五郎 吉田 新悦
- 米谷多一郎 安田 慶悦
- 鎌田堅治郎 高橋 留吉
- 上坂 順治 伊藤 邦夫
- 越前屋英三

天王町教育委員会

- 委員長 佐々木良衛
- 職務代理 伊藤英之助
- 委員 児玉 孝雄
- 石川 次男
- 教育長 渋谷 円助
- 職員 一同

天王町農業委員会

- 会長 佐藤 栄蔵
- 職務代理 古山 良蔵

天王町選挙管理委員会

- 委員 菊地栄治郎
- 戸田 堅一
- 藤原五兵衛
- 吉田 新一
- 職員 一同

天王町選挙管理委員会

- 委員 菊地栄治郎
- 戸田 堅一
- 藤原五兵衛
- 吉田 新一
- 職員 一同

天王町監査委員

- 委員 金 栄一
- 三浦 兼吉

天王町固定資産評価審査委員会

- 委員長 児玉良之助
- 委員 佐々木吉太郎
- 船木 助太郎

天王町公民館

- 館長 米谷多一郎
- 副館長 後藤 春治
- 職員 一同

天王町消防団

- 団長 藤原吉治郎
- 副団長 菊地 貞蔵
- 職員 一同

